

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570809160		
法人名	伊藤電気株式会社		
事業所名	グループホーム大曲はなぞの2号館		
所在地	大仙市大曲花園町25-28		
自己評価作成日	令和5年11月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.jp/05/index.php">http://www.kai.gokensaku.jp/05/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団		
所在地	秋田市御所野下堤五丁目1番地の1		
訪問調査日	令和5年12月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:30)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関とスタッフルームに掲示している。以前には実践者研修にて理念の見直しを行い、日々の申し送りにて入居者様の状態を把握しながら理念に沿った関わりができるよう話をしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する町内会へ所属し、コロナ発生以前は76歳以上対象の食事会へ職員付き添いにて参加したり、施設行事へも参加を呼び掛け交流できていた。		
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域の方々との認知症を学べる場として、認知症サポーター養成講座の開催経験や認知症なんでも相談所を設置し、地域貢献に努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染状況をみながら町内の住民、家族の代表者、以前入居されていた町内在住の家族様にも様子を書面にて報告したり、感染対策しながら集まって頂きご意見を伺っている。地域の方では消防に詳しい方もおり参考になる意見を聞くことができている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者として市役所高齢者あんしん相談センター職員にも運営推進会議へ参加して頂き、地域の情報や助言を聞くことができている。又、入居者様やそのご家族様との関わりで相談事あれば連絡して相談や意見を伺い、話し合いの場に参加して頂いている。		
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現在まで身体拘束の事例はない。身体拘束のないケアに取り組み、外部研修あれば参加するようにし、マニュアルも完備している。又、社内研修にて年4回組み込んで実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会があったが、実際の利用はしたことがない。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の本人やご家族様との面談にて不安や疑問点あれば解決しながら契約するようにしている。又、改定あれば文書にて連絡と同意を頂き、必要あれば再度口頭でも説明して理解できるようにしている。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	運営推進会議では可能な限り家族様の代表や入居者様にも参加頂きご意見を頂いている。又、以前にはアンケートの実施も取り入れている。		
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	コロナ以前は月1回の職員会議を代表者と職員全員参加にて実施していた。現在は感染対策にて書面での回覧となっているが、毎日の申し送りにて設備面や備品等の不良あれば都度報告して電気器具等の交換に繋がっている。		
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、職員はグループホーム協議会等に参加して、交流を深めたり、勉強会への参加に努めている。(今現在はコロナ禍のため相互訪問は行っていない。)代表者は一部の会の役員として研修の企画、立案にも参加している。		
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談にて可能な限り、訴えや要望を聞き、入居後の不安解消に努めている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談にて家族の気持ちや要望等を把握できるよう努める。又、入居後も状態をみて連絡を取り合える体制づくりをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム内で生活を共にしている関係づくりを目指している。入居者様の思い、不安、喜びを共に分かち合い、支え合える関係づくりを目指している。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の思いや意向を大切にしながら、家族との繋がりが保てるよう支援している。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	感染対策は継続しながら家族や必要あれば知人との面会、外出も再会できている。又、電話や手紙の支援も希望あれば行い、馴染みの方々との関係が保たれるようにしている。		
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係や一人一人の思いを把握し、必要時には職員が見守りや仲介しながら孤立しないように支援している。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も必要に応じ、居宅のケアマネジャーと連絡をとり相談や情報提供している。		
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	誕生日にはそれぞれ食べたいものを聞いたり、日々の会話にて出掛けたい所があれば天候をみながら外出も取り入れるようにしている。又、一人一人毎月の様子を記入して回覧し、毎朝の申し送りでも必要あれば話し合い行うようにしている。		
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談にて生活の聞き取りをし、アセスメント作成して現状把握に努めている。又、必要によっては随時確認するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	職員1名で1～2名の担当制を半年交代で毎月の評価や担当者会議の記録をもとに話し合いを行っている。以前は全職員参加だったが感染対策にて管理者、ケアマネ、出勤職員での話し合い、文書の回覧をしている。又、毎月ご家族様へは個別に生活の様子を含むプランの評価を手紙で送っている。		
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	日々の些細な言動や行動、プランの内容も記録に残すように徹底している。又、朝夕の申し送り時、状態変化を共有できるよう記録記入にも努めている。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事に参加できる機会や外出頻度少ない分、ホーム内作業にて得意とする調理や裁縫、趣味活動(塗り絵や貼り絵、紙箱折り等)を取り入れ、一人一人の能力が発揮できるよう支援している。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には施設対応にて受診している。又、協力医からの往診や予防接種、年1回の歯科検診、はホームへ来て頂いている。薬局や医師との連携もとれており、個別記録にはかかりつけ医の記載もしている。		
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約にて週1回程の訪問と状態変化には相談等を24時間体制にて対応できるようになっている。		
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には医療機関に情報提供し、入居者様が不安なく治療を受け、早期に退院できるよう努めている。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	社内研修へ看取りに関する内容を組み込みながら主治医や家族との相談のもと、行うようにし、緊急時のマニュアル作成もしてかかりつけ医、緩和ケア、病棟との連携にてケアを行った事例や現在も対応中の方がいる。又、終末期対応後には御家族様から感謝の手紙や言葉を頂き職員へ伝えることで今後のやる気へ繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナ発生以前は消防署へ依頼、協力にて救急救命講習実施できるように努めていた。又、緊急時の対応マニュアルの作成や連絡網の整備に加え、勤務表作成時に夜間の緊急時に出勤できる体制を整えている。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議に参加頂いている近隣住民の方には緊急連絡網に入って頂き、協力体制がとれるようにしている。又、以前に近隣火事になった際にも駆け付けてくれたり、大雨情報等がでると様子確認の電話を入れてくださることもあり。		
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員に守秘義務の徹底を図り、名前の呼び方や日々の声掛けについても確認しながら対応している。又、職員同士でも日々の中で意見や注意し合える環境作りに努めている。		
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様の希望や好みを確認しながら訪問理容の依頼をしたり、希望あればクリーム等の購入を希望される方もおり対応している。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材や昔からの郷土料理、誕生日に入居者様からの意見も取り入れながらの食事提供している。又、以前にはお祭り雰囲気や焼き鳥や綿あめ等提供したり、山菜の下処理にて昔からの得意分を活かしながら参加してもらっている。		
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時、個々の食事や水分量をチェックしている。又、好みの飲み物の把握や容器の検討、夏場には脱水予防に夜間にも随時水分勧めたり希望あればボトルに夜間摂取分の水分入れ提供。血糖管理している方には糖質抑えた食事や飲み物の提供して対応している。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人の能力や状態にて口腔ケアや義歯使用者には義歯ブラシにて磨き、夕食後にポリドント使用と必要によって管理も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様一人一人の排泄をチェック表に記入している。リハビリパンツ使用していてもできるだけトイレで排泄できるよう支援している。又、排泄状態によってはチェック表活用して下剤の調整したり、状態によりポータブルトイレの設置も行っている。		
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防にて食物繊維のあるものや野菜、乳製品を取り入れ水分も好みの物等取り入れてできるだけ多めに摂れるようにしている。又、体操も継続して行えるようにしている。		
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	生活習慣や体調に合わせて週2回の入浴日を設けている。入浴が困難な時や拒否が強い方には時間や曜日変更したり、足浴や清拭を取り入れて気持ち良く生活できるよう支援して折る。		
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調に合わせ、休息や睡眠がとれるように支援している。状態みながら必要時は処方されている頓服薬の検討もしている。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬についての内容は個人ファイルに処方箋を収納していつでも確認できる体制をとっている。又、症状の変化時には記録を残すと共に主治医や訪問看護師に確認するようにしている。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの生活歴や入居者様の好み、能力に応じた活動ができるように支援している。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ発生以前に比べると少な目だが、感染対策しながら家族や親類との面会や外出の機会はできている。又、近隣の散歩や季節でのドライブには都度対応できるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や御家族様の確認のもと、現金の管理と使用を金庫保管と出納帳にて管理している。又、現金保管と通帳等貴重品の管理については取り決めを交わして書面にも残している。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある小物や貼り物、入居者様の作成した作品も飾りながら季節感を感じられる空間づくりに努めている。又、床暖房や冷房完備もあり、冬期間には加湿器設置もしながら管理と確認を行っている。		
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内のベンチやソファ、畳の間にてそれぞれ場所をみつけて、馴染みの方同士で過ごすことできている。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンとベット、小箆箭的なものは備え付けになっている。他は自宅にて使っていた家具や家族からの贈り物や写真、亡くなった方を弔うための写真を持ち込んで居心地い環境になるよう工夫している。又、殺風景な居室には貼物等で工夫している。		
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や居室内入口、トイレ、浴室、ベット等には手すりを設置し安全に移動できるよう配慮している。真t、必要によっては家具の配置検討や実施も行っている。		